

ビジネス学部 カリキュラムマップ

科目区分	科目名称	配当年次	単位数	到達目標	(1)幅広い教養と「経営」、「マーケティング」、「経済」、「会計」分野の基礎的な知識を修得し、その上で一つの分野に関して知識を深めている。(知識・理解)	(2)「経営」、「マーケティング」、「経済」、「会計」分野の基礎的な技能を活用し、自ら主体的に活動するとともに、他者を支援することができる。(技能)	(3)課題を解決するために、基礎的な知識・技能を活かして理論的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。(思考・判断・表現)	(4)身に付けた知識、技能、思考力・判断力・表現力をビジネスの世界で発揮することに強い関心と意欲を有する。(関心・意欲・態度)
専門基礎科目	ビジネス入門	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス学部4年間で学修する内容の全体像や「経営」「マーケティング」「経済」「会計」の各分野を学ぶ目的及び学問体系を理解する。(知識・理解)◎ ・「経営」「マーケティング」「経済」「会計」の各分野とビジネス社会の関連を踏まえて、今後、より深く学修したい分野や科目を明確にする。(関心・意欲・態度)◎ 	◎			◎
専門基礎科目	経営基礎Ⅰ	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・経営学の各分野における基礎知識を習得している。(知識・理解)◎ ・企業の管理の初歩的なツールを理解し、用いることができる。(技能)◎ ・経営学の基礎的な概念と理論を用いて、企業の実際の活動や企業経営の現場で起きている諸問題を理解し、表現することができる。(思考・判断・表現)○ ・経営学が扱う様々な論点を理解し、これから経営学を学んでいくうえでの関心を広げていくことができる。(関心・意欲・態度)△ 	◎	◎	○	△
専門基礎科目	マーケティング基礎Ⅰ	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティングの基礎的な理論を修得している。(知識・理解)◎ ・マーケティングの基礎的な理論に基づいて、ケース分析を行うことができる。(技能)◎ ・企業のマーケティング活動を考察したり、顧客の課題解決について表現できる。(思考・判断・表現)○ ・組織全体で取り組む事業活動としてのマーケティングに関心を持っている(関心・意欲・態度)△ 	◎	◎	○	△
専門基礎科目	ミクロ経済学基礎Ⅰ	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・この授業では、需要・供給と市場に関する様々な場合の知識を有している。(知識・理解)◎ ・需要と供給、消費者余剰と生産者余剰について分析の技術を身に付ける。(技能)◎ ・市場に関する知識や分析技能に基づいて、現実の経済における市場の在り方について考察したり、厚生経済学の基本的考え方を表現したりすることができる。(思考・判断・表現)○ ・日本や世界の実際の経済問題について主として需要・供給と市場の観点から理解と対応について検討する意欲を有する。(関心・意欲・態度)△ 	◎	◎	○	△
専門基礎科目	会計基礎Ⅰ	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・会計情報の意義を理解し、その理論的枠組みの基礎知識を修得している。(知識・理解)◎ ・複式簿記の原理に基づき、一般的な会計データを集約する技能を身につけている。(技能)◎ ・会計情報を利用しようとする意欲を有している。(関心・意欲・態度)△ 	◎	◎		△
専門基礎科目	会計基礎Ⅱ	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・会計における理論的枠組みの基礎知識を修得し、会計データを会計情報に加工する仕組みを理解している。(知識・理解)◎ ・複式簿記の原理に基づき、基礎的な会計情報を作成することができる。(技能)◎ ・企業の財務内容に関心があり、会計情報を利用しようとする強い意欲を有している。(関心・意欲・態度)△ 	◎	◎		△
専門基礎科目	リーダーシップ開発入門演習Ⅰ	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークを通じた課題解決において、個々のリーダーシップの発揮が重要であることと、リーダーシップの実践に最小三要素(1. 目標共有 2. 率先垂範 3. 相互支援)が必要であることを理解する。(知識・理解)○ ・グループワークと課題解決において、自ら主体的に行動するための基本的なコミュニケーションスキルを使えるようになる。(技能)◎ ・グループワークと課題解決においてどのようなリーダーシップを発揮するかを考え、メンバーに共有することができる。(思考・判断・表現)◎ ・グループワークと課題解決において、グループとしての成果を高めるために自分ができることを他者に示すと同時に、他者の協力を仰ぐことができるようになる。(関心・意欲・態度)◎ 	○	◎	◎	◎
専門基礎科目	リーダーシップ開発入門演習Ⅱ	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーシップの発揮において、論理的思考や多様性を理解したコミュニケーションが必要であることを理解する。(知識・理解)○ ・リーダーシップの発揮において、論理的思考や多様性を理解したコミュニケーションスキルを使えるようになる。(技能)◎ ・前期リーダーシップ開発入門演習Ⅰのグループ活動プロセスを振り返り、それぞれがどのようなリーダーシップを発揮しグループの成果にインパクトを与えたのか、そして、その学びを今後の行動にどのような活かすのかを考え、共有することができる。(思考・判断・表現)◎ ・自分らしいリーダーシップの探究を通じて、グループ内や授業内における主体的な学びと他者との協働によって成長することへの関心、意欲、態度が醸成される。(関心・意欲・態度)◎ 	○	◎	◎	◎
専門基礎科目	経営基礎Ⅱ	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・この授業で説明する経営学説の諸理論を経営学教育の基礎として修得している。(知識・理解)◎ ・経営学説で取り上げる文献を、現代の経営課題を解くツールとして活用することができる。(技能)○ ・経営学説の諸理論を考察することにより、経営学の発展可能性を思考し、それを表現することができる。(思考・判断・表現)◎ ・時代と共に変化するビジネス環境に関心を持ち、社会の変動が経営学にどのような影響を与えてきたかについての学修意欲を有している。(関心・意欲・態度)△ 	◎	○	◎	△

科目区分	科目名称	配当年次	単位数	到達目標	(1)幅広い教養と「経営」、「マーケティング」、「経済」、「会計」分野の基礎的な知識を修得し、その上で一つの分野に関して知識を深めている。(知識・理解)	(2)「経営」、「マーケティング」、「経済」、「会計」分野の基礎的な技能を活用し、自ら主体的に活動するとともに、他者を支援することができる。(技能)	(3)課題を解決するために、基礎的な知識・技能を活かして理論的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。(思考・判断・表現)	(4)身に付けた知識、技能、思考力・判断力・表現力をビジネスの世界で発揮することに強い関心と意欲を有する。(関心・意欲・態度)
専門基幹科目	経営戦略論Ⅰ		2	<ul style="list-style-type: none"> ・企業や組織が将来目標を達成できるか否かに関して、環境条件を分析する能力を備え、目標達成手段としての基礎的な経営戦略理論を修得している。(知識・理解)◎ ・企業経営やビジネス上の問題について、経営戦略の主要理論を活用し分析することができる。(技能)◎ ・経営戦略の知識をもとに、経営者・管理者の立場にたって経営課題の解決方法とその判断理由を論理的に表現することができる。(思考・判断・表現)△ ・ケース・スタディーを通じた企業活動の分析に興味・関心を有し、経営戦略の考え方と応用方法について高い勉学意欲を有している。(関心・意欲・態度)◎ 	◎	◎	△	◎
専門基幹科目	経営組織論Ⅰ		2	<ul style="list-style-type: none"> ・「組織」の概念や定義を理解している。(知識・理解)◎ ・組織現象に関する抽象的説明を理解している。(知識・理解)◎ ・抽象的に説明される組織現象を現実の事例に適用して検討することができる。(思考・判断・表現)◎ 	◎		◎	
専門基幹科目	マーケティング基礎Ⅱ		2	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティングの基礎的な概念や概念の関連性を修得している。(知識・理解)◎ ・マーケティングの基礎的な概念や概念の関連性の知識を活用して、適切にケース分析を行うことができる。(技能)◎ ・マーケティングの知識や技能に基づき、企業の特徴や状況を考えた上で、マーケティング活動を考察し、顧客の課題解決について表現できる。(思考・判断・表現)○ ・マーケティングに関心があり、顧客の課題解決に関する活動について意欲を有している(関心・意欲・態度)△ 	◎	◎	○	△
専門基幹科目	流通論Ⅰ		2	<ul style="list-style-type: none"> ・この授業で扱う経営やマーケティング分野の基礎的な知識を理解し、その上で流通に関し多角的に知識を連携させている。(知識・理解)◎ ・マーケティング分野の基礎的な技能を理解し、主体的活用の努力姿勢を獲得するとともに、異なる立場を理解し協調することができるようになる。(技能)◎ ・流通における諸課題を分析するために、基礎的な知識・技能を活かして論理的に検討し、その過程や結果を簡潔に表現することができる。(思考・判断・表現)◎ ・身に付けた知識、技能、思考力・判断力・表現力を、与えられた未解決の検討課題の検討と解決において関心と意欲を有する。(関心・意欲・態度)△ 	◎	◎	◎	△
専門基幹科目	流通論Ⅱ		2	<ul style="list-style-type: none"> ・この授業で扱う経営やマーケティング分野の理論的な知識を修得し、その上で流通に関し多面的かつ将来的な展望を含めた知識を構造的に理解し深めている。(知識・理解)◎ ・マーケティング分野の基礎的な技能を活用し、自ら主体的に実践するとともに、異なる立場を理解して尊重しながら相互調整を図り協働することができる。(技能)△ ・流通における諸課題を解決するために、基礎的な知識・技能を活かして理論的かつ実践的に考察し、その過程や結果について説得力を持って表現することができる。(思考・判断・表現)◎ ・身に付けた知識、技能、思考力・判断力・表現力を、ビジネスの世界やその関連領域で発揮することに強い関心と意欲を有する。(関心・意欲・態度)◎ 	◎	△	◎	◎
専門基幹科目	統計学基礎演習Ⅰ		2	<ul style="list-style-type: none"> ・この授業で扱う記述統計と推測統計(推定・検定)の知識を修得している。(知識・理解)◎ ・推測統計の理論に照らして、実データで推定・検定を活用することができる。(技能)◎ ・統計の知識で社会現象を考察し、分析結果を効果的に表現できる。(思考・判断・表現)○ ・データに基づいて判断することについて意欲を有している。(関心・意欲・態度)△ 	◎	◎	○	△
専門基幹科目	統計学基礎演習Ⅱ		2	<ul style="list-style-type: none"> ・統計学の基礎、多変量解析の基礎的な知識を修得している。(知識・理解)◎ ・多変量解析の知識に基づき、実データでソフトを使いながら活用することができる。(技能)◎ ・統計の知識で社会現象を考察し、分析結果を効果的に表現できる。(思考・判断・表現)○ ・世の中にあるデータを分析して、新しい知見を得る意欲を有している。(関心・意欲・態度)△ 	◎	◎	○	△
専門基幹科目	ミクロ経済学基礎Ⅱ		2	<ul style="list-style-type: none"> ・この授業では、市場の失敗に関する様々な場合の知識を有している。(知識・理解)◎ ・独占、外部性(外部経済・不経済)、情報の非対称性等の問題について分析の技術を身に付ける。(技能)○ ・市場の失敗に関する知識や分析技能に基づいて、現実の経済におけるこれらの問題に対する政策的対応について考察したり、対策を策定して表現したりすることができる。(思考・判断・表現)◎ ・日本や世界の実際の経済問題について理解と対応について主として市場の失敗の観点から検討する意欲を有する。(関心・意欲・態度)△ 	◎	○	◎	△
専門基幹科目	マクロ経済学基礎Ⅰ		2	<ul style="list-style-type: none"> ・マクロ経済学の基礎概念であるGDP、インフレーション、景気変動、経済成長の概念について理解する。(知識・理解)◎ ・貯蓄、投資、利率の概念を理解する。(知識・理解)◎ ・GDP決定の基本理論である所得支出アプローチを身につけ、様々な現実のマクロ経済問題に応用することができる。(技能)◎(思考・判断・表現)○ 	◎	◎	○	

科目区分	科目名称	配当年次	単位数	到達目標	(1)幅広い教養と「経営」、「マーケティング」、「経済」、「会計」分野の基礎的な知識を修得し、その上で一つの分野に関して知識を深めている。(知識・理解)	(2)「経営」、「マーケティング」、「経済」、「会計」分野の基礎的な技能を活用し、自ら主体的に活動するとともに、他者を支援することができる。(技能)	(3)課題を解決するために、基礎的な知識・技能を活かして理論的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。(思考・判断・表現)	(4)身に付けた知識、技能、思考力・判断力・表現力をビジネスの世界で発揮することに強い関心と意欲を有する。(関心・意欲・態度)
専門基幹科目	マクロ経済学基礎Ⅱ	2	2	・GDPと物価の同時決定に関する総需要・総供給を理解し、現実の諸問題に適用することができる。(知識・理解)◎(技能)△ ・財政・金融政策がマクロ経済にどのような影響を及ぼすかを理解するとともに、現在の日本でこれらの政策がどのように実行されているか、どんな問題を抱えているかについて関心を持つ。(思考・判断・表現)◎、(関心・意欲・態度)◎ ・世界経済を悩ましてきたインフレ・デフレ、金融危機について関心を持ち、将来のキャリアとの関連についても想像してみる。(関心・意欲・態度)◎ ・開放経済のマクロ経済理論の基礎について学修し、現実の諸問題に適用することができる。(知識・理解)◎(技能)△	◎	△	◎	◎
専門基幹科目	財務会計Ⅰ	2	2	・財務会計の意義を理解し、その理論的枠組みに関する知識を修得している。(知識・理解)◎ ・財務会計の知識や複式簿記の技能に基づき、応用的な会計情報(特にB/S情報)を作成することができる。(技能)◎ ・企業の財務内容に関心があり、会計情報を利用しようとする意欲を有している。(関心・意欲・態度)○	◎	◎		○
専門基幹科目	財務会計Ⅱ	2	2	・財務会計の意義を理解し、その理論的枠組みに関する知識を十分に修得している。(知識・理解)◎ ・財務会計の知識や複式簿記の技能に基づき、応用的な会計情報(特にP/L情報や連結財務情報)の作成や会計情報の分析が行える。(技能)◎ ・企業の財務内容に関心があり、会計情報を利用しようとする強い意欲を有している。(関心・意欲・態度)◎	◎	◎		◎
専門基幹科目	原価計算Ⅰ	2	2	・この授業で扱う原価計算の概念と基礎知識(費目別計算および部門別原価計算)を修得している。(知識・理解)◎ ・原価計算の理論に照らして、その手続きに沿って簡単な計算演習ができ、製造原価報告書を準備することができる。(技能)◎ ・原価計算の知識や技能に基づき工業簿記の背景を考察し、製造業の財務状況について表現できる。(思考・判断・表現)○ ・原価計算に関心があり、製造業上場企業の決算発表の理解について意欲を有している。(関心・意欲・態度)△	◎	◎	○	△
専門基幹科目	原価計算Ⅱ	2	2	・この授業で扱う原価計算の概念と基礎知識(製造間接費の配賦、個別原価計算、総合原価計算および標準原価計算)を修得している。(知識・理解)◎ ・原価計算の理論の理解を基礎にして、その手続きに沿って計算演習ができ、製造原価報告書を準備することができ、また既存の製造原価報告書の分析・理解ができる。(技能)◎ ・原価計算の知識や技能に基づき工業簿記の背景を考察し、製造業の財務状況について表現でき、その企業の特徴の把握ができる。(思考・判断・表現)○ ・原価計算に関心があり、製造業上場企業の決算発表を意欲的に分析・検討する。(関心・意欲・態度)△	◎	◎	○	△
専門基幹科目	リーダーシップ開発基礎演習	2	2	・グループワークを通じた課題解決において、リーダーシップの実践のために自分を客観的に理解する。(知識・理解)○ ・グループワークと課題解決ならびにクラス内外において、自ら主体的に行動するための多様なコミュニケーションスキルを伝えるようになる。(技能)◎ ・グループワークと課題解決ならびにクラス内外において、どのように自分らしくリーダーシップを発揮するかを考え行動計画を立てる。また、それをグループメンバーならびに他者に共有することができる。(思考・判断・表現)◎ ・グループワークと課題解決ならびにクラス内外において、グループとしての成果を高めるために自分ができることを他者に示し、他者の協力を仰ぐと共に、他者支援を適切に行うことができるようになる。(関心・意欲・態度)◎	○	◎	◎	◎
専門発展科目	経営戦略論Ⅱ	3	2	・経営戦略についての理論と戦略を策定するためのツールを理解している。(知識・理解)○ ・経営戦略を策定するための基本的なツールを用いることができる。(技能)○ ・具体的な事例において戦略実行の結果を調べ、その成功要因や失敗要因を分析し、説明できる。(思考・判断・表現)◎ ・実際のビジネスのなかで経営戦略のフレームワークがどのように使われているかに関心を持ち、自ら「戦略」的に物事を考え、説明することができる。(関心・意欲・態度)◎	○	○	◎	◎
専門発展科目	経営組織論Ⅱ	3	2	・授業内で紹介された用語、概念、理論等を理解している。(知識・理解)◎ ・組織について、過去・現在の実例に則して多面的に論じることができる。(思考・判断・表現)◎ ・組織と組織メンバーとの関係について、過去・現在の実例に則して多面的に論じることができる。(思考・判断・表現)◎ ・日本の働く現場における組織と個人との今後のあり方について、自分なりの理想型を定めることができる。(関心・意欲・態度)○	◎		◎	○
専門発展科目	中小企業論	3	2	・中小企業の実態と課題ならびに中小企業経営の知識を修得している。(知識・理解)○ ・経営学の理論を活用し、個別企業の強みや弱みを明らかにすることができる(技能)◎ ・経営学の知識や理論に基づき、中小企業経営者や管理者の立場にたって経営判断を提示し、その理由を論理的に表現することができる。(思考・判断・表現)△ ・多様な中小企業(地場産業、社会的企業、起業活動、ベンチャー企業など)に興味・関心を有し、大企業とは異なる中小企業の特徴を学ぼうとする意欲を有している。(関心・意欲・態度)◎	○	◎	△	◎

科目区分	科目名称	配当年次	単位数	到達目標	(1)幅広い教養と「経営」、「マーケティング」、「経済」、「会計」分野の基礎的な知識を修得し、その上で一つの分野に関して知識を深めている。(知識・理解)	(2)「経営」、「マーケティング」、「経済」、「会計」分野の基礎的な技能を活用し、自ら主体的に活動するとともに、他者を支援することができる。(技能)	(3)課題を解決するために、基礎的な知識・技能を活かして理論的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。(思考・判断・表現)	(4)身に付けた知識、技能、思考力・判断力・表現力をビジネスの世界で発揮することに強い関心と意欲を有する。(関心・意欲・態度)
専門発展科目	現代経営事情	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・見聞した実務の現状に対してそれまで学修した経営学の理論・概念等を適用して分析できる。(思考・判断・表現)◎ ・見聞した実務の現状を通して、経営学の既存の理論・概念等で説明できない事実を指摘できる。(思考・判断・表現)◎ ・上記の分析内容や事実発見に関する知見を他者と共有することで、理解や視点をさらに深めることができる。(技能)○(思考・判断・表現)◎ ・見聞した実務の現状を通して、卒業後のキャリアイメージをより深く検討できる。(関心・意欲・態度)◎ 		○	◎	◎
専門発展科目	国際経営論	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・この授業で取り上げる、国際経営の基礎理論およびソーシャル・マネジメントという国際経営の新たな論点を知識として理解することができる。(知識・理解)○ ・国際経営を担う学生の皆さんが、本授業を履修することで、主体的に国際的な経営課題を理解し、経済的弱者を支援することができる。(技能)△ ・日本の長寿企業の経営思想を考察し、国際的なサステナブル・マネジメントの方策を具現化する思考を表現することができる。(思考・判断・表現)◎ ・国際的な課題に取り組む、グローバル企業の活動に関心を持ち、学生自らが国際経営の主役として活動できる意欲を養うことができる。(関心・意欲・態度)◎ 	○	△	◎	◎
専門発展科目	人的資源管理論	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・日本で行われている人的資源管理について現状を理解している。(知識・理解)◎ ・今後の日本における人的資源管理の望むべきあり方について自分なりに論じることができる。(思考・判断・表現)◎ 	◎		◎	
専門発展科目	コンプライアンス経営論	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・単なる法令遵守ではなく、社会の倫理や社会通念と抵触しない企業行動がコンプライアンス経営の本質であることを理解できる。(知識・理解)◎ ・企業等の組織におけるコンプライアンス違反等の原因メカニズムを分析できる。(技能)○ ・ある企業行動がコンプライアンスに反するか否かを判断できる。(思考・判断・表現)△ ・コンプライアンス経営に関心を持ち、実践する意欲を有している。(関心・意欲・態度)△ 	◎	○	△	△
専門発展科目	コーポレート・ガバナンス	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・この授業で扱う受託者責任(フィデューシャリ・デューティー)の概念や法令遵守(コンプライアンス)に関する知識を修得している。(知識・理解)○ ・会社の具体的な意思決定の合理性を判断する際に、経営判断原則の理論を活用することができる。(技能)◎ ・金融規制に関する知識に基づいて金融機関とその取締役等の法的責任の有無を分析したり考察したりできる。(思考・判断・表現)○ ・ビジネスのルールに関心があり、公平な制度・解釈を求めることについて意欲を有している。(関心・意欲・態度)○ 	○	◎	○	○
専門発展科目	ビジネスと法A	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・この授業で扱う商法の概念や有価証券の知識を修得している。(知識・理解)◎ ・有価証券法理に照らして、手形を巡る法的諸問題を解決することができる。(技能)◎ ・商法総則・商行為の知識に基づき、広く日常の経済活動を考察できる。(思考・判断・表現)○ ・ビジネスのルールに関心があり、公平な制度・解釈を求めることについて意欲を有している。(関心・意欲・態度)○ 	◎	◎	○	○
専門発展科目	ビジネスと法B	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・この授業で扱う会社に関する法的概念や証券取引規制の知識を修得している。(知識・理解)◎ ・会社法・金融商品取引法を支える基礎理論を活用して、株主・投資者その他の当事者間における適切な利害調整を図ることができる。(技能)◎ ・会社法や金融商品取引法の知識に基づいて、社会における企業の経済活動の意味や証券市場の機能を考察し、分析することができる。(思考・判断・表現)○ ・ビジネスのルールに関心があり、公平な制度・解釈を求めることについて意欲を有している。(関心・意欲・態度)○ 	◎	◎	○	○
専門発展科目	消費者行動論	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・この授業で紹介される消費者行動論の基礎的な概念や理論を理解している。(知識・理解)◎ ・消費者行動論の基礎的な概念や理論を使って問題を自分の頭で整理し、自分のことばで他者に明確にその問題の本質を書いて、また話して伝えることができる。(技能)○、(思考・表現・判断)○、(関心・意欲・態度)◎ 	◎	○	○	◎
専門発展科目	現代マーケティング事情	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティングの基礎を基盤としながら現代マーケティング事情の考え方や知識を修得している。(知識・理解)△ ・現代マーケティング事情の考え方や知識に照らして、主体的に活用できる。(技能)△ ・現代マーケティング事情に対して、その考え方や知識を総動員して考察し、自らの考えや意見を提示し他者(ゲストや他学生)と議論できる。(思考・判断・表現)◎ ・実際のマーケティングに興味・関心を持ち、主体的にマーケティングを学ぼうとする意欲を有している(関心・意欲・態度)◎ 	△	△	◎	◎

科目区分	科目名称	配当年次	単位数	到達目標	(1)幅広い教養と「経営」、「マーケティング」、「経済」、「会計」分野の基礎的な知識を修得し、その上で一つの分野に関して知識を深めている。(知識・理解)	(2)「経営」、「マーケティング」、「経済」、「会計」分野の基礎的な技能を活用し、自ら主体的に活動するとともに、他者を支援することができる。(技能)	(3)課題を解決するために、基礎的な知識・技能を活かして理論的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。(思考・判断・表現)	(4)身に付けた知識、技能、思考力・判断力・表現力をビジネスの世界で発揮することに強い関心と意欲を有する。(関心・意欲・態度)
専門発展科目	マーケティング・リサーチ		3	2 ・マーケティング・リサーチの一連のプロセスの考え方や理論を修得している。(知識・理解)○ ・マーケティング・リサーチの一連のプロセスの考え方や理論に照らして、一連のプロセスを主体的に実施できる。(技能)◎ ・マーケティング課題に対して、マーケティング・リサーチの知識やスキルを総動員して考察し、自らの解決策を提示し他者と議論できる。(思考・判断・表現)◎ ・マーケティングに興味・関心を持ち、主体的にマーケティング・リサーチを学ぼうとする意欲を有している(関心・意欲・態度)△	○	◎	◎	△
専門発展科目	マーケティング・コミュニケーション		3	2 ・マーケティング・コミュニケーションの概念やその計画プロセスの考え方や理論を修得している。(知識・理解)○ ・マーケティング・コミュニケーションの概念やその計画プロセスの考え方や理論に照らして、一連のプロセスを主体的に実施できる。(技能)◎ ・マーケティング・コミュニケーション課題に対して、その知識やスキルを総動員して考察し、自らの解決策を提示し他者と議論できる。(思考・判断・表現)◎ ・マーケティングに興味・関心を持ち、主体的にマーケティング・コミュニケーションを学ぼうとする意欲を有している(関心・意欲・態度)△	○	◎	◎	△
専門発展科目	ビジネスとプログラミング		3	2 ・この授業で扱うプログラミングの基礎とデータ分析の知識を修得している。(知識・理解)◎ ・簡単なビジネスの分析課題について、プログラミングを実装することができる。(技能)◎ ・自ら興味のあるビジネスに関する問題に応用し、実装できる。(思考・判断・表現)○ ・プログラミングをビジネスへ応用するという意欲がある。(関心・意欲・態度)○	◎	◎	○	○
専門発展科目	ビッグデータ分析		3	2 ・この授業で扱うプログラミングや統計・機械学習の知識を修得している。(知識・理解)◎ ・インターネットなどの多様なデータなどを収集し、分析することができる。(技能)◎ ・多様なデータをどう分析をすればいいかという判断ができる。(思考・判断・表現)○ ・情報社会のなかでデータから新しい知識を獲得する意欲がある。(関心・意欲・態度)○	◎	◎	○	○
専門発展科目	金融論		3	2 ・現実の経済取引の背後で金融がどのように関わっているかについての理解と金融制度についての知識を得ることができる。(知識・理解)○ ・金融取引に必要な技能やテクノロジーを活用して、将来の行動や生活等に積極的に導入することができる。(技能)○ ・金融市場の意義と危険性についての理解を通じて、リスクのある取引や詐欺的な取引を選別する判断ができる。(思考・判断・表現)◎ ・金融の技術が技術革新や新しいビジネスに直結することに関心を持ち、その知識を現実に役立てることに意欲を感じる。(関心・意欲・態度)△	○	○	◎	△
専門発展科目	国際貿易論		3	2 ・国際貿易に関する理論の基本的な知識を有している。(知識・理解)○ ・必要な理論的基礎を理解した後、実証分析の手法を応用して、国際経済学の分析技術を身に付ける。(技能)◎ ・国際貿易の理論と実証分析を活用して、現実の国際的な経済問題について考察を深め、自らの考えをまとめて意見を表明できるようになる。(思考・判断・表現)○ ・グローバル化が進む今日の社会経済問題の本質を主体的に理解し、分析・活用した意思決定に生かす。(関心・意欲・態度)◎	○	◎	○	◎
専門発展科目	公共経済学A		3	2 ・政府や自治体といった公共セクターがどのような活動をしているかについての知識を修得したうえで、私たちの生活とどのように関連しているかについて理解する。(知識・理解)◎ ・ミクロ経済学の基礎理論を用いて、政府の経済活動を分析することができる。(技能)○ ・厚生経済学や情報の経済学を用いて、政府が効率的な資源配分や公平な所得配分を実現するうえで、必要な存在であることを批判的に議論できる。(思考・判断・表現)◎ ・課税制度や所有権制度に関心を持ち、それらについて望ましいあり方を考えることができる。(関心・意欲・態度)○	◎	○	◎	○
専門発展科目	公共経済学B		3	2 ・公的年金を中心とした社会保障制度の現状と問題点についての知識を修得し、少子高齢化の進展に伴う制度改革について自身の考えを述べることができる(知識・理解)◎(技能)△(思考・判断・表現)◎ ・公債の負担や財政の持続可能性についての知識を修得し、問題解決に対する自身の考えを述べる(知識・理解)◎(技能)△(思考・判断・表現)◎ ・財政政策のマクロ経済効果に関する知識を修得し、財政政策に対する自身の考えを述べる(知識・理解)◎(技能)△(思考・判断・表現)◎	◎	△	◎	
専門発展科目	国際金融論		3	2 ・国際収支や為替レート概念や決定理論についての知識を修得している(知識・理解)○ ・開放経済体系下における経済政策の有効性に関する知識を修得している(知識・理解)○ ・国際金融市場や通貨制度の理論や歴史についての知識を修得している(知識・理解)○ ・現代の国際金融の諸問題に関心を持ち、問題解決に関する自身の考えを述べる(思考・判断・表現)◎(関心・意欲・態度)△	○		◎	△

科目区分	科目名称	配当年次	単位数	到達目標	(1)幅広い教養と「経営」、「マーケティング」、「経済」、「会計」分野の基礎的な知識を修得し、その上で一つの分野に関して知識を深めている。(知識・理解)	(2)「経営」、「マーケティング」、「経済」、「会計」分野の基礎的な技能を活用し、自ら主体的に活動するとともに、他者を支援することができる。(技能)	(3)課題を解決するために、基礎的な知識・技能を活かして理論的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。(思考・判断・表現)	(4)身に付けた知識、技能、思考力・判断力・表現力をビジネスの世界で発揮することに強い関心と意欲を有する。(関心・意欲・態度)
専門発展科目	現代金融・会計事情	3	2	・現代の金融・会計が企業経営に与える影響や社会的に果たしている基本的な役割を理解している。(知識・理解)○ ・ファイナンスと会計の知識を活用して、低金利の環境が、銀行の財務状況に与える影響を把握できる(技能)△ ・企業が直面する様々な金融面の課題や企業行動について、その背景を理論的に考察し、表現することができる。(思考・判断・表現)◎ ・現代のビジネスを取り巻く金融・経済環境や、それらを踏まえた企業行動の理解に意欲を有している。(関心・意欲・態度)◎	○	△	◎	◎
専門発展科目	会計演習A	3	2	・現代企業にとって特に重要な会計上の論点について、会計基準の考え方から導き出される適切な会計処理を理解している(知識・理解)◎ ・財務会計の基本的な知識を活用して、企業の特徴を把握するための財務分析を行うことができる(技能)◎ ・会計とファイナンスの知識を組み合わせ、対象となる取引の経済的な意味を考察できる(思考・判断・表現)○ ・企業実務における具体的な選択や行動が、会計情報としてどのように表現されるかについて関心をもっている(関心・意欲・態度)○	◎	◎	○	○
専門発展科目	会計演習B	3	2	・この授業で扱う原価計算・管理会計の概念と基礎知識を修得している。(知識・理解)◎ ・原価計算・管理会計の理論に照らして、その手続きに沿って簡単な計算演習ができ、製造原価報告書・経営管理資料を準備することができる。(技能)◎ ・原価計算・管理会計の知識や技能に基づき原価計算・経営管理の背景を考察し、財務状況について表現できる。(思考・判断・表現)○ ・原価計算・管理会計に関心があり、経営管理者に役立つ情報を提供する原価計算・管理会計の理解について意欲を有している。(関心・意欲・態度)○	◎	◎	○	○
専門発展科目	管理会計Ⅰ	3	2	・この授業で扱う管理会計の概念と基礎知識(CVP分析、原価分解、直接原価計算、予算管理、事業部制会計など)を修得している。(知識・理解)◎ ・管理会計の理論に照らして、その手続きに沿って簡単な計算演習ができ、経営管理資料を準備することができる。(技能)◎ ・管理会計の知識や技能に基づき経営管理の背景を考察し、財務状況について表現できる。(思考・判断・表現)○ ・管理会計に関心があり、経営管理者に役立つ情報を提供する管理会計の理解について意欲を有している。(関心・意欲・態度)△	◎	◎	○	△
専門発展科目	管理会計Ⅱ	3	2	・この授業で扱う管理会計の概念と基礎知識(業務的意思決定、設備投資意思決定、活動基準原価計算など)を修得している。(知識・理解)◎ ・管理会計の理論に照らして、その手続きに沿って簡単な計算演習ができ、経営管理資料を準備することができ、また既存の経営管理資料の分析・理解ができる。(技能)◎ ・管理会計の知識や技能に基づき経営管理の背景を考察し、財務状況について表現でき、その企業の特徴の把握ができる。(思考・判断・表現)○ ・管理会計に関心があり、経営管理者に役立つ情報を提供する管理会計を意欲的に分析・検討する。(関心・意欲・態度)△	◎	◎	○	△
専門発展科目	ファイナンス	3	2	・ファイナンスの基本的な理論および概念を理解している(知識・理解)○ ・利子率とキャッシュフローのパターンに応じて、割引現在価値を計算できる(技能)○ ・企業の資金調達や投資の意思決定プロセスにおいて、ファイナンス理論が具体的にどのように応用されているかを考察し、他者に説明ができる(思考・判断・表現)◎ ・身の周りの金融商品や金融機関が提供するサービス等について、どのようなリスクがあり、どのようなリターンやメリットが得られるのか関心をもっている(関心・意欲・態度)◎	○	○	◎	◎
専門発展科目	起業と会計	3	2	・起業に関する基礎的な知識を修得している。(知識・理解)◎ ・ビジネスプランを作成できる。(技能)△ ・起業の成長ステージに応じた課題への対処について適切に判断できる。(思考・判断・表現)△ ・起業に関心を持ち、実践する意欲を有している(関心・意欲・態度)○	◎	△	△	○
専門発展科目	監査論	3	2	・三様監査の意義を理解し、その理論的枠組みに関する知識を修得している。(知識・理解)○ ・三様監査の知識にもとづき、開示される監査報告書の内容を平易な表現で説明でき、監査意見に対する適切な判断ができる。(思考・判断・表現)◎ ・新聞等の不祥事記事(特に会計不祥事)に関心を持ち、その背景を洞察する意欲を有している。(関心・意欲・態度)○	○		◎	○
専門発展科目	企業評価論	3	2	・企業評価の必要性や企業評価の様々な方法(手法)について理解できる。(知識・理解)◎ ・企業評価の様々な方法を使って、実際に企業評価を行うことができる。(技能)○ ・企業評価に際してどの評価方法を使うことが適切かを判断できる。(思考・判断・表現)○ ・企業評価に関心を持ち、実践する意欲を有している(関心・意欲・態度)△	◎	○	○	△

科目区分	科目名称	配当年次	単位数	到達目標	(1)幅広い教養と「経営」、「マーケティング」、「経済」、「会計」分野の基礎的な知識を修得し、その上で一つの分野に関して知識を深めている。(知識・理解)	(2)「経営」、「マーケティング」、「経済」、「会計」分野の基礎的な技能を活用し、自ら主体的に活動するとともに、他者を支援することができる。(技能)	(3)課題を解決するために、基礎的な知識・技能を活かして理論的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。(思考・判断・表現)	(4)身に付けた知識、技能、思考力・判断力・表現力をビジネスの世界で発揮することに強い関心と意欲を有する。(関心・意欲・態度)
専門発展科目	リーダーシップ開発 応用演習	2	2	・より高度なリーダーシップの発揮を視野に、自己理解の深化と多様な他者を理解し受容することの必要性を理解する。(知識・理解)△ ・自分らしいリーダーシップの発揮に必要な様々な論理思考やコミュニケーション、合意形成、コンフリクトマネジメントのスキルを適切に使えるようになる。(技能)△ ・チームのアウトプットを最大化するためにはどのように困難を乗り越えるか、どのようなリーダーシップを発揮しチームの成果に貢献できるかを考え、共有することができる。(思考・判断・表現)◎ ・自分らしいリーダーシップの探究を踏まえて、クラス内における主体的な学びと成長を生み出すことへの関心を高め、メンバーの参画意欲と学習態度を高める支援行動を起こせるようになる。(関心・意欲・態度)◎	△	△	◎	◎
専門発展科目	ファシリテーション 基礎演習A	2	2	・ファシリテーションとは何か理解している。(知識・理解)△ ・ファシリテーションに必要なスキルを身に付け、発揮することができる。(技能)○ ・ファシリテーターに必要な心構えを理解し表現することができる。(思考・判断・表現)○ ・ファシリテーターとして他者と積極的に関わることができる。(関心・意欲・態度)◎	△	○	○	◎
専門発展科目	ファシリテーション 基礎演習B	2	2	・ファシリテーションとは何か理解し、説明することができる。(知識・理解)△ ・会議の事前時と事後を含めたプロセスの全体設計を行うことができる。(技能)○ ・話し合いの目的を明確にするための適切な表現ができ、事前準備及び事後フォローの留意点を示すことができる。(思考・判断・表現)○ ・ファシリテーターとして他者と積極的に関わりながら、問題解決に向けた支援ができる。(関心・意欲・態度)◎	△	○	○	◎
専門発展科目	チームコーチング 基礎演習A	3	2	・コーチングとは何か理解している。(知識・理解)△ ・基礎的なコーチングスキルを身に付け、グループワークの中で適切に発揮することができる。(技能)○ ・チームの環境を整えるために役割に応じた適切な状況説明や発問ができる。(思考・判断・表現)○ ・他者の主体性を引き出し、責任をもって最後までやり遂げる支援ができる。(関心・意欲・態度)◎	△	○	○	◎
専門発展科目	チームコーチング 基礎演習B	3	2	・コーチングとは何か理解し、説明することができる。(知識・理解)△ ・ビジネスの現場を想定した場において、他者との関係性を踏まえ、個性を尊重しながら、個性を発揮できるコーチングができる。(技能)○ ・質問技法を用いた適切な表現により、他者の個性を引き出すことができる。(思考・判断・表現)○ ・適切なコーチングを用いながら、チームを引っ張り、チームを支え、導くことに強い意欲をもつ。(関心・意欲・態度)◎	△	○	○	◎
専門発展科目	3年ゼミ ナール	3	4	・グループ学修を通じて、研究課題の設定や研究レポートの作成に必要な知識を修得している。(知識・理解)◎ ・グループ学修を通じて、必要となる技能を学修し、活用できるようになる。(技能)◎ ・文献講読、統計資料や財務資料等の読解・分析を行い、その内容・結果を適切に表現できるようになる。(思考・判断・表現)◎ ・ゼミ活動全般について他者と協働しながら建設的な意見交換を行い、課題解決しようとする意欲を持つことができるようになる。(関心・意欲・態度)◎	◎	◎	◎	◎
専門発展科目	4年ゼミ ナール	4	4	・グループ学修を通じて、研究課題の分析、研究計画書の作成、データの収集・分析に必要な知識を修得している。(知識・理解)◎ ・グループ学修を通じて、必要となる専門的な技能を学修し、その活用について3年次よりも高いレベルで行うことができる。(技能)◎ ・他者とのコミュニケーションを通じて、課題を発見し、文献調査、分析等を行いながら、論理的に自らの考えを表現できるようになる。(思考・判断・表現)◎ ・ゼミ活動全般について他者と協働しながら建設的な意見交換を行い、課題解決しようとする意欲を3年次よりも高いレベルで持つことができるようになる。(関心・意欲・態度)◎	◎	◎	◎	◎

科目区分	科目名称	配当年次	単位数	到達目標	(1)幅広い教養と「経営」、「マーケティング」、「経済」、「会計」分野の基礎的な知識を修得し、その上で一つの分野に関して知識を深めている。(知識・理解)	(2)「経営」、「マーケティング」、「経済」、「会計」分野の基礎的な技能を活用し、自ら主体的に活動するとともに、他者を支援することができる。(技能)	(3)課題を解決するために、基礎的な知識・技能を活かして理論的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。(思考・判断・表現)	(4)身に付けた知識、技能、思考力・判断力・表現力をビジネスの世界で発揮することに強い関心と意欲を有する。(関心・意欲・態度)
専門発展科目	卒業論文	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文の執筆・準備を通じて、研究課題に関わる必要十分な知識を理解できるようになる。(知識・理解)◎ ・卒業論文の執筆を通じて、研究課題に関わる必要十分な技能の学修やその活用を行うことができる。(技能)◎ ・論理的に物事を捉えつつ、自らの考えを的確に表現できるようになる。(思考・判断・表現)◎ ・卒業論文作成における調査・議論・執筆の各段階において手順や頻度を落とすことなく着実に研究活動を遂行し、4年間で学修した諸能力を現実のビジネスの場で活かす意欲を示すことができる。(関心・意欲・態度)◎ 	◎	◎	◎	◎